

Week of March 10 - Helmet of Salvation | Small Group Lesson 27

知り合う

自分の救いを忘れることは可能ですか？どのような場合ですか？

それは、なぜですか？

聖句 – エペソ人への手紙 6:17a（聖書協会共同訳）

17 また、救いの兜をかぶり、 (聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学び

1. **文脈 / 復習:** エペソ 6:11-16 で、パウロは、クリスチャンが悪魔や他の邪悪な霊的勢力に対抗するために、どのように備えるべきかを記しています。 真理、義、平和の福音への備え、信仰を身につけるべきであり、パウロはその一つひとつを、兵士が戦いで用いる特定の武具（ベルト、胸当て、サンダル、盾）に見立てています。

    a. エペソ 6:11-16 を一緒に読みましょう。
    b. あなたは、武具は守るためのものだと思いますか、それとも攻撃するためのものだと思いますか？なぜですか？(2 テサロニケ 3:3)

2. **今日のテキスト:** エペソ 16:17aで、パウロは前回に引き続き、クリスチャンは救いを活かすべきであると付け加えています。この文脈の中で、パウロが意図しているのは、兵士が人間同士の戦争で兜を使うように、私たちも悪しき霊的な力との戦いの中で救いを役立てるべきであるということのようです。

    a. 救いと頭にはどのような関連性があるのですか。
    (1 テモテ 2:4; ルカ 1:76-78; 1 コリント 2:2; 1 テサロニケ 5:6-8)

学び

3. **さらなる考察のために:** パウロは、イザヤ書 59章（17-19節）の言葉を引用し、第一テサロニケ人への手紙 5:8で述べた考えを繰り返しているようです。 これらの箇所はどちらも救いの兜に言及しています。イザヤ書では、神御自身が兜をかぶり、敵を倒し、民を守るために来られると約束しています。テサロニケ1章では、クリスチャンは救いの望みをかぶとのようにかぶり、主の日を待ち望む者です。

   しかし、今日学んだように（エペソ16:17a）、教会はその救いを活かすことが望まれています。

   a. この戦いは、私たちが選んで行うことでしょうか？
   それは、なぜですか？ (エペソ 6:11-12、2 コリント 10:3-5、1 ペテロ 5:8)

ディスカッション

エペソ 6:17aでパウロは、救いの兜を「かぶる」べきだと教えています。 エペソ 2:8でパウロは、救いは神からの賜物だと教えています。この二つの教えの関係をどう理解しますか？(例えば、エペソ4:24について考えてみましょう。)

適応

ヘルメットは、(a)着用し、(b)ヘルメットが必要なことに使用しなければ、役に立たないものです！ ヘルメットは危険なことをするときに必要になります。（なぜヘルメットが必要なのですか？） 救いは、どのようにヘルメットのように用いられるのでしょうか？

シェア

あなたがイエス様への信仰によって救われたことを理解し、悪魔の策略から守られたときのことを分かち合ってください。この事を知ることで、困難な状況を克服した体験について説明してください。(参照：ヨハネ20：25、28)

成長

なぜ神は、サタンが私たちに敵対することを許されるのですか？そのことは、どのように私たちの成長を助けるのでしょうか？あなたの人生の中で、現在あなたが苦しんでいる領域をいくつか特定し、神がこれらの困難を通してあなたを解放してくださるように、また、これらの困難を用いて、あなたをより強く、より良く、よりイエス様に似た者としてくださるように、SGと共に祈りしょう。